

2019年度 四万十町地域イノベーター養成講座 オープンフォーラム ビジュアルレポート

高知大学地域協働学部
コミュニティデザイン研究室

四万十町役場

高知大学
地域協働学部
コミュニティデザイン研究室
(須藤順)

- 学生メンター
- | | |
|---------------|-------|
| 高知大学地域協働学部4回生 | 藤原拓登 |
| 高知大学地域協働学部4回生 | 岡本廉 |
| 高知大学地域協働学部3回生 | 實重優 |
| 高知大学地域協働学部2回生 | 檜山諒 |
| 高知大学地域協働学部2回生 | 吉田滉平 |
| 高知大学地域協働学部2回生 | 春田碧 |
| 高知大学地域協働学部2回生 | 伊藤圭那 |
| 高知大学地域協働学部1回生 | 藤田朋子 |
| 高知大学地域協働学部1回生 | 田部未空 |
| 高知大学地域協働学部1回生 | 山本公平 |
| 高知大学地域協働学部1回生 | 大久保琴加 |
| 高知大学地域協働学部1回生 | 窪田良雅 |

**1人ひとりが自分事として、
地域課題解決や活性化を目指す
「チャレンジする人材」の学びの場**

- 1 一人ひとりが自分の経験の中から、自分自身のミッション（使命）を見つけ出す
- 2 “ジブンゴト”で取り組むことができるプロジェクトを自分自身で生み出す
- 3 ジブンゴトのプロジェクト（マイプロジェクト）に取り組む仲間同士がともに切磋琢磨しながらも支え合う関係を創る

- 1 安心・安全の場をみんなで創ろう
- 2 ありのままの自分を素直に出そう
- 3 仲間・プロジェクトを評価しない
- 4 プロジェクトは変わってOK
- 5 お互いに貢献し合う

自分に基づいた (My)

「何かを、プロジェクトの形にして (pjt) やってみる」
ことから始まる、自分や世の中の変化の物語

自らの経験の中から、

自分のミッションを生み出していく

| | | |
|--------------------|---|-------------|
| マイプロ Me編 | 名前 (ニックネーム、読んでほしい名前、その由来) | 作成日： 場所： |
| 似顔絵・写真 | みんなが知らない自己紹介 | |
| 自分ヒストリー 音 (～)学校 | 人生グラフ：横軸は年で、縦軸はイキキ度(幸せ度)。人生で輝いていた時、沈んでいた時を見る化しよう！ | |
| (～中学・高校) | | |
| (～専門・大学) | みんなが知らない自慢・一発芸・得意技 | |
| (～現在) | | |
| 今 | | |
| マイプロジェクトの源泉へ | | |

← me編シート

- ・自分のライフヒストリーや好きだったこと、楽しかったこと、つらかったことなど
- ・自分の人生をグラフにしてみる
- ・普段見せない自己紹介

project編シート→

- ・自分と紐づいたプロジェクトを書き出す
- ・それは誰にどんな価値を生み出すのか

| | |
|---------------------------|---------------------|
| PROJECT編 | |
| わたしのプロジェクト(マイプロジェクト)を一言で！ | |
| ■実践したいプロジェクトの概要 | |
| | |
| ■「やってみたい！」と思った、理由や背景、原体験 | ■「誰」にどんな価値を生み出しますか？ |
| | |

- ① **Why** : どんな「わたし」が何を夢描いているのか？
- ② **What** : それを実現する、何をするプロジェクトなのか？
- ③ **How** : プロジェクトを進めるため、進捗を管理しよう



① **Why?**

プロジェクト

② **What?**

プロジェクト

プロジェクト

わたしたち



③ **How?**
進捗管理

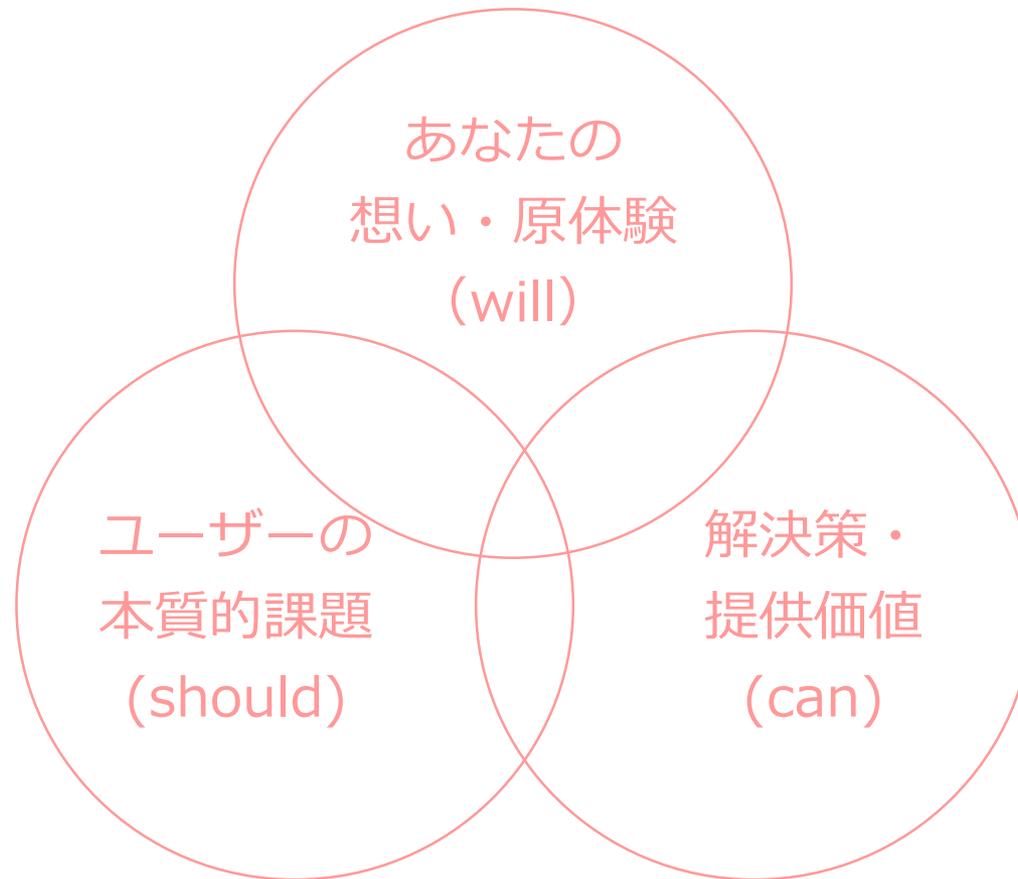
ビジョン実現に向けて、学習と軌道修正をくりかえす



- 挑戦を支える“居場所”(セーフスペース)**
- 自分たちとプロジェクトの“つながり”
 - Yes, Andできる仲間やコミュニティの存在

マイプロジェクト =
自分に基づいた (my)
「何かを、プロジェクトの形にして (project) やってみる」ことから始まる、自分や世の中の変化の物語

出所: ボーンSTEIN& デイヴィス(2010訳書, p.114) 追加修正
※ 井上英文作成



【実施概要】

- 実施名称 四万十町地域イノベーター養成講座 オープンフォーラム
- 日 時 令和元年5月26日（日）13時30分～16時30分
- 会 場 高知県高岡郡四万十町茂串町3-13 岩本寺
- 主 催 四万十町・高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室
- 実施内容 一人一人がジブンゴトトして、地域課題解決や活性化を目指す「チャレンジする人材」の学びを支援する「地域イノベーター養成講座」を体験できる場として、オープンフォーラムを開催した。

【タイムライン】

- 13 : 00 オープニング・開会宣言 横山光一氏（四万十町役場）
- 13 : 10 ライトニングトーク：橋本貴紘氏（Workth代表・理学療法士）
- 13 : 30 マイプロ体験ワーク
- 15 : 00 基調講演：矢田明子氏（Community Nurse Company株式会社代表）
- 15 : 30 クロストークセッション
- 16 : 30 クロージング

自然と参加者同士で会話生まれるような和やかな空気で会が始まった。
最初に四万十町役場・横山氏から、本フォーラムの趣旨と地域イノベーター養成講座の概要について説明を行った。



開会



横山氏あいさつ



概要説明



受講生の様子

理学療法士橋本氏のマイプロ紹介。「働く人の健康づくり」をモチーフに、自身が立ち上げた事業「Workth（ワークス）」の活動の概要を福祉の現場の実態とともに紹介した。参加者の中には医療福祉関係の方も多く、頷きの声が多く聞こえた。



橋本氏のライトニングトーク



受講生の様子



グループ内で意見共有



「Workth」の活動紹介の様子

※お断り：会場の照明を落としているため、写真も暗くなっています。

始めに、須藤(高知大学地域協働学部)からマイプロの概要とシートの書き方などについてのレクチャーがあった。

その後マイプロ“自分グラフ”を記入する時間が設けられ、書き終わると3人1グループの形でマイプロ“自分グラフ”のダイアログが行われた。



マイプロのレクチャーの様子



“自分グラフ”記入の様子



マイプロシェア全体の様子



マイプロシェア中の様子

各グループでマイプロシートのシェアが行われた。話し手は笑顔で楽しそうに、時には真剣に話していた。聞き手は、自然に前のめりの姿勢で聞いている人が多くいた。今回は新たに質問カードも用い、慣れない人でも質問が行いやすいように工夫をした。中には、話し手自身が改めて自分を振り返ることのできる深い内容の問いも発せられていた。



マイプロシェア中



マイプロシェア中



マイプロシェア中



マイプロシェア中

矢田氏の基調講演。体験談を軸に、今行っていることとこれまでの歩みを語ってもらった。医療の道から「コミュニティナース」という形で住民と寄り添った地域貢献を行っている矢田氏。この事例をもとに、「イノベーションは自分の中に起こすものだ。」と語り、そのエネルギーさからも心に強く響くものが多くあった。



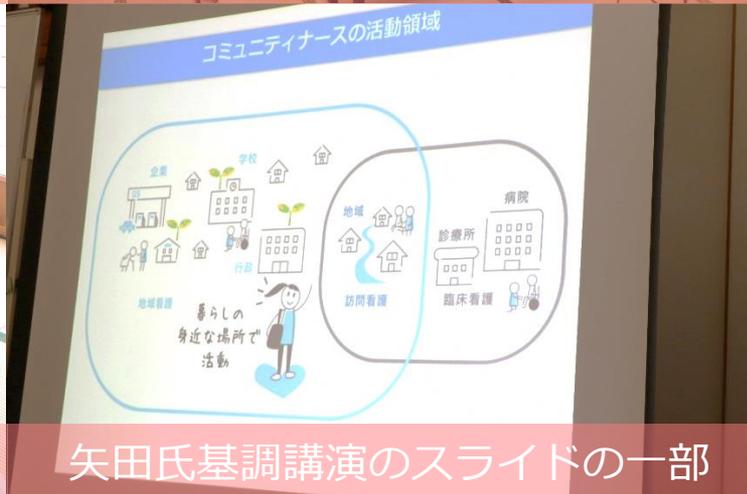
基調講演を行う矢田氏



講演を聞く様子



グループで意見の共有



矢田氏基調講演のスライドの一部

須藤氏の質問に対して、矢田氏、橋本氏が答えるという形で主にクロストークが行われた。矢田氏・橋本氏ともに、普段の暮らしの中で身近に支えてくれる人が重要であるとおっしゃっており、受講生は地域に寄り添う福祉の新たな形に学ぶところが多々あった。



クロストークの様子



受講生の様子

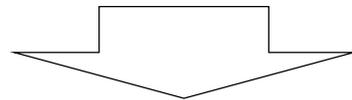


受講生の様子

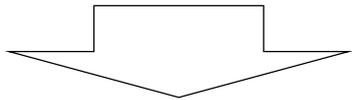


クロストークの様子

STEP1: “My Story” → “It’s me ”



STEP2: 「共に」 一歩踏み出す



STEP3: 仲間として支え合う

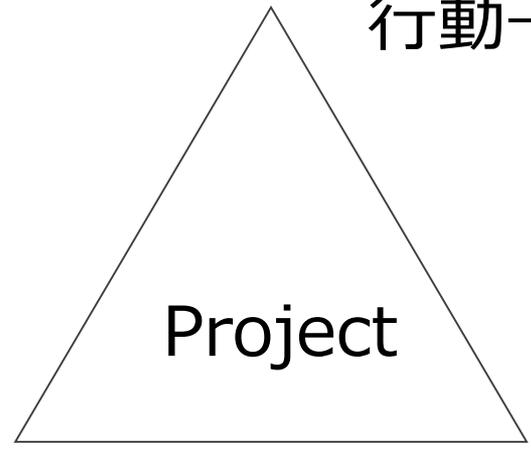
変化歓迎・失敗歓迎・立ち止まり歓迎

プロジェクトの成功より、

一人一人が自分の人生を生きているかどうか？

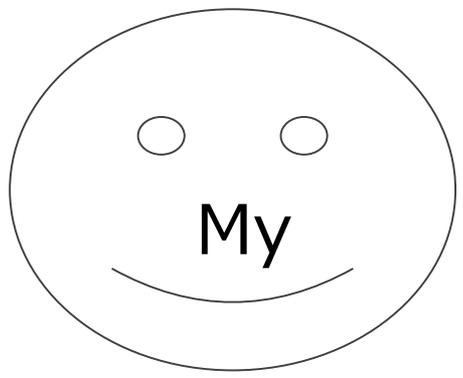
行動→気づきと仲間

「わたし」
のWill



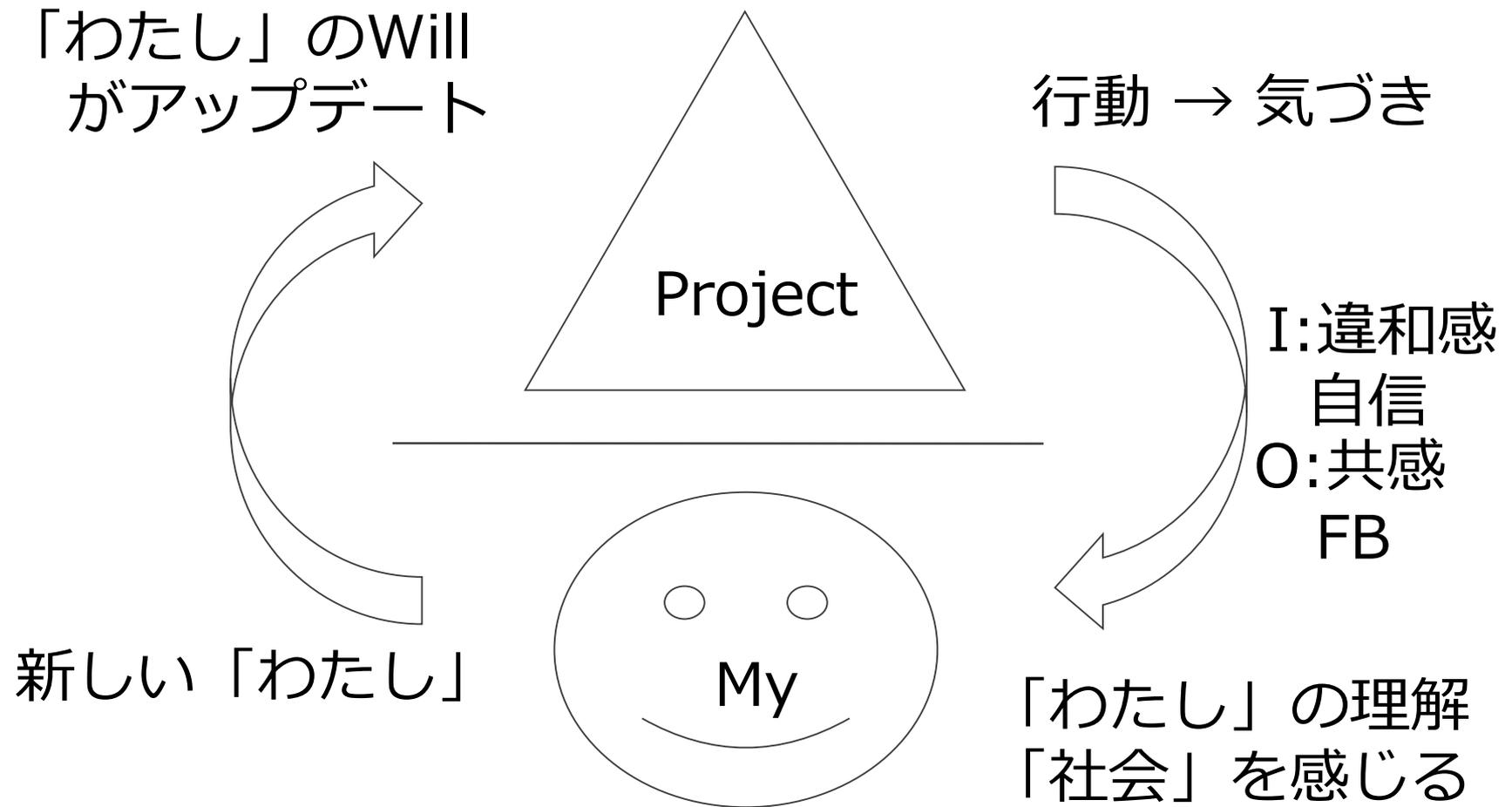
賞賛
共感
違和感
失敗
成功

新しい「わたし」



自信
「わたし」の理解

出所：ビジネス・ブレイクスルー大学 須子善彦氏作成資料より



出所：ビジネス・ブレイクスルー大学 須子善彦氏作成資料より

① マイプロシート(me&pjt編)をみんなの前でシェア



② みんなからフィードバック



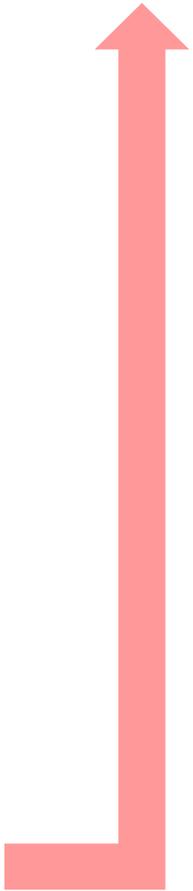
③ プレゼントカードを書いて渡す

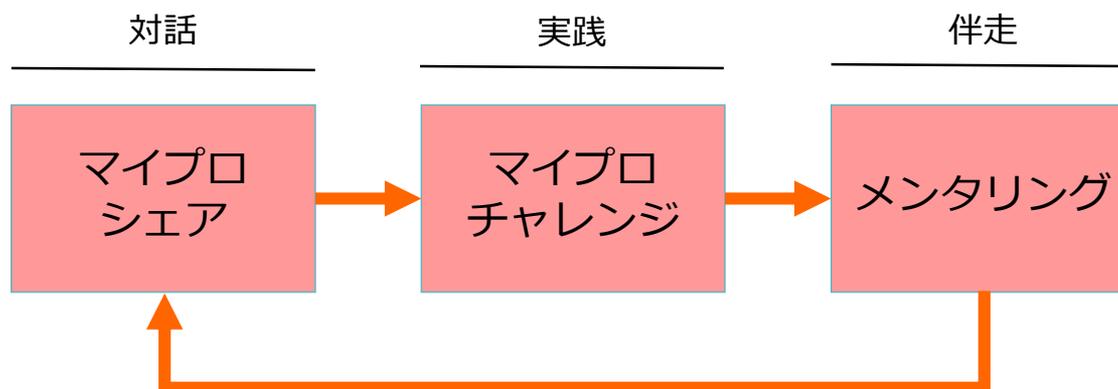


④ アクションを試してみる



⑤ 気づきを踏まえてシートを書き換える





- 四万十町地域イノベーター養成講座は、誰かが知識や方法論を教えるのではなく、受講生一人ひとりと大学生メンターと一緒にマイプロジェクトを進め、喜びや悩み、想いを共有しながら一歩ずつ前に進んでいくことを目指します。
- 対話を通じて一人ひとりのマイプロを共有し、一人ひとりが小さな実践を行い、それを受講生と大学生が相互にメンタリングを行いながら、「本当に自分がやりたいこと」に取り組んでいきます。
- こうしたプロセスを通じて「ジブンゴトをミンナゴト」にしていくための一人ひとりに法則を見つけ出していきます。
- 地域にイノベーションを起こすためには知識や方法論、メソッドはもちろん、本当に自分がやりたいこと、気になることを、仲間とともに小さな一歩を進めることから始まる、というのが私たちの基本的な考えとして講座を進めていきます。

四万十町役場 人材育成推進センター

担当 主幹 横山 光一

〒786-0008 高知県高岡郡四万十町榊山町3番7号

TEL 0880-22-3163 FAX 0880-22-3345

E-mail 103060@town.shimanto.lg.jp

高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室

担当：講師 須藤 順

〒780-8520 高知県高知市曙町2-5-1総合研究棟1階

TEL 088-788-8077 FAX 088-888-8043

E-mail j.suto@kochi-u.ac.jp

Web <http://www.communitydesign-kochi.jp/>

※本講座に関する問い合わせは上記までお願いいたします。

※本資料の無断での配布、外部組織や個人への配布・閲覧、及び二次使用は、固く禁止させていただきます。